

に検索し、過去に交信していればその履歴を、瞬きまばたをする間もなく一覧表示してくれます。

また、未交信であれば、ファースト QSO であることを知らせてくれます。

ハムログ作者の浜田さんにお聞きしました。

「なぜこんなに早く検索できるのですか？」

(浜田さん談)「一般的には開発ツールに付属してくる出来合いのデータベース・エンジンを使うのですが、ハムログではこのデータベース・エン

ジンを特別に作成しています。」瞬きまばたをする間もなく検索できるのは、ハムログ用の特別製 Turbo/Hamlog データベース・エンジンが搭載されているからなのです。

1-2-1 こんなことができる ハムログの運用

ハムログを使うと、次の情報をリアルタイムで

リアルタイム・ロギングで運用する楽しさ！

移動地の情報も
記録できる。

いつも移動サービス
ありがとうございます。
前回は〇郡移動
でしたネ。

ファースト交信が
すぐにわかる。

ファースト交信です
ネ。私は〇市の△と申
します。今後ともよろ
しくお願いします。

過去交信の周波数、モード、
何回目の交信がすぐわかる。

△△さん、こんにち
は。今日で〇回目の
QSOで、これで〇バ
ンドになりますネ。
いつも交信ありがと
うございます。

前回の交信がいつだったか
すぐにわかる。

いや～久しぶりです
ネ。前回お会いした
のは 19×× 年の春
ですから〇〇年ぶり
ですネ、お元気でし
たか！

前回に行った交信のRemarks
を見ることができる。

〇〇さん、こんにち
は！
前回は山登りの話をあ
りがとうございました。
その後また登られまし
たか？

既交信地域の
既交信局がわかる。

そうですね、〇さんのローカ
ルさんだそうで、昨日アン
テナを上げる手伝いに行か
れたそうで、了解しました。
〇さんに今度会われたらよ
ろしくお伝えください。

未交信地域かどうか
すぐにわかる。

ご紹介ありがとうございます。
△郡△町とはファースト
になります。ぜひ QSL カ
ードの交換をお願いします。

QSL カードの状況がすぐわかる。
QSL カードのお礼が言える。

□□さん、こんにち
は、あっカードも届
いていますネ、いつ
も鳥の写真の QSL
カードありがとうございます。



2 リアルタイム・ロギング情報

表示することができます(図2)。

① 交信履歴の表示

ファースト QSO かどうか、既 QSO の場合は何回目かを表示します。

② QSL カード受領情報

QSL カード送り受けの情報を表示します。

③ 過去の交信ログの内容

過去の交信ログに書かれている情報 (Remarks 含む) を表示します。

④ 交信相手の QTH との交信状況

入力ウィンドウの QTH 欄で「↓」キーを押すことにより、「市・郡」、「区・町・村」について「全バンドを通じて」、「利用中のバンドで」、「利用中のモードで」、「利用中のバンド・モードで」の交信履歴を検索して表示することができます。

⑤ 交信相手の QTH とのバンドごとの交信状況

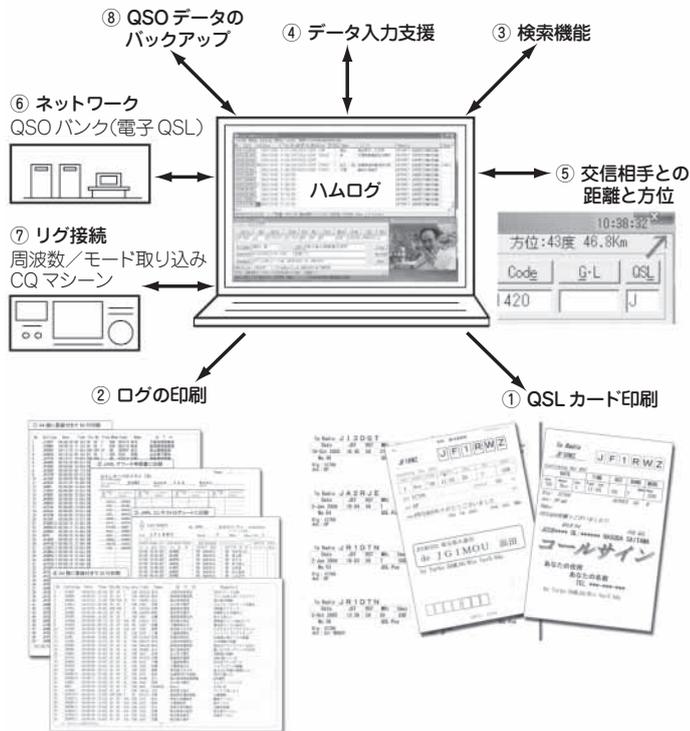
「Code」欄にて「↓」キーを押すことにより、バンドごとの交信状況と、交信相手の役場の緯度経度を知ることができます。

1-2-2 こんなこともできる ハムログの機能

ハムログには、ハムの運用を楽しむための機能が豊富に用意されています。ここでは、その概要を説明します(図3)。

① QSL カードを印刷する機能

ハムログの大きな魅力として、QSL カード印



3 こんなこともできるハムログ

刷機能があります。

既製品カードのデータ欄へ交信データを埋め込み印刷することもできますし、白紙のハガキ用紙にJARL 転送枠やデータ枠を含めて印刷することが手軽にできます(第2章 2-8 参照)。

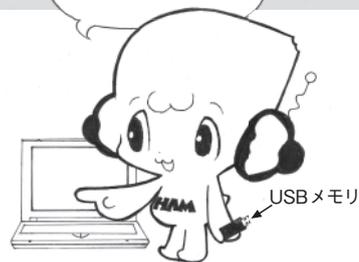
② ログを印刷する機能

ログ帳やアワード申請用のログの写しを印刷する機能があります(第2章 2-7 参照)。

③ 検索機能

各種の検索機能を用意しています(第2章 2-9 参照)。

バックアップで
安心して運用しよう



④ データ入力支援機能

入力を楽にするための機能として、ユーザーリストを組み込むことができます。

Turbo HAMLOG ユーザーリスト (ファイル名: userlist.usr) は、ハムログ・ユーザーの方が自らの意思で情報を公開し合って楽しむためのものです。

ハムログ・ユーザーに登録していて、インターネットに接続されている場合は、免許状 Get's 機能を利用して、総務省の免許状情報ページから QTH を取得し、ハムログの QTH に取り込むことができます。

⑤ 交信相手との距離と方位を知る機能

自局の緯度経度を環境設定で登録しておくことにより、交信相手との距離と方位を入力ウィンドウの右上に表示してくれる機能があります。ビーム・アンテナをお使いの場合は、アンテナを回す方向がすぐにわかります(第2章 2-4 環境設定・設定3 参照)。

⑥ ネットワーク機能

QSObank との接続機能や、ユーザーリスト Get's/ 道の駅 Get's 機能があります。

⑦ リグ接続機能

リグと接続して周波数やモードを取り込む機能、また CQ マシーン機能も用意されています。

⑧ バックアップ機能 (重要)

ハムログはフリー・ソフトウェアなので、ソフトウェアを入手してパソコンにインストールすればいつでも利用できます。

また、ハムログの開発思想は、入力のしやすさ、間違っただけの訂正のしやすさを本題として開発されており、リアルタイム・ロギングを目的とし

て作られているため、素晴らしい性能を持っています。

この手軽さと高い性能、豊富な機能が多くのユーザーを引き付けている魅力ですが、注意すべきことは一つだけです。

それはフリー・ソフトウェアであるがゆえに、ハムログを利用する場合は自らの責任で対応しなければなりません。具体的には、「自分のデータは自分で守る」を常に頭に入れて運用します。

「災いは忘れた頃にやってくる」と言いますが、データのバックアップはこまめに取りましょう！(第2章 2-5 参照)。

1-3 ハムログ用のパソコンを 準備しよう

ハムログは、Windows 系の OS で動きます。

Windows 系の OS とは、Microsoft 社が開発したパソコン用の基本ソフトウェアで、パソコンで稼働させるアプリケーション・ソフトウェアは、この基本ソフトウェア上で動きます。

Windows 系の OS にはどのような種類があるのでしょうか。

発売された年代順に、Windows 95、同 98、同 98SE、同 98Me、同 NT、同 2000、同 XP、同 Vista とあり、現在店頭で発売されているパソコンは Windows Vista を搭載しています(図 4)。

Windows Vista には、4 種類のエディションがあり

部位	機種	Windows 95	Windows 98SE	Windows 98Me	Windows XP	Windows Vista
CPU		i486SX 以上	486DX 以上	Pentium	Pentium	Pentium
CPU クロック			66MHz 以上	150MHz 以上	300MHz 以上	800MHz 以上
メモリ		8MB 以上	24MB 以上	32MB 以上	128MB 以上	512MB 以上
推奨メモリ		12MB 以上	32MB 以上	64MB 以上	256MB 以上	1GB 以上
ハードディスク OS 部分		75MB 以上	380MB	300MB	2.1GB	15GB
ハードディスク ハムログ部分		30 ~ 50MB				
ディスプレイ		640 × 480 以上	640 × 480 以上	640 × 480 以上	800 × 600 以上	800 × 600 以上
マウス		必須	必須	必須	必須	必須

4 Windows の OS と性能関係表

ますが、ハムログはどのエディションでも動作します。

● Windows Vista で動作させるためには

- Pentium CPU : 800MHz 以上. 1GHz 推奨.
- メモリ : 512MB 以上が必要. 1GB 以上推奨.
- ハードディスクの容量は、ハムログの部分として 30 ~ 50MB あれば十分.

● Windows XP で動作させるためには

- Pentium CPU : 300MHz 以上.
- メモリ : 128MB 以上が必要. 256MB 以上推奨.
- ハードディスクの容量は、ハムログの部分として 30 ~ 50MB あれば十分.

- 【1】電源 ON とログオン
- 【2】ログオフと電源 OFF
- 【3】プログラムの起動と終了
- 【4】文字の入力や修正
- 【5】マウス操作
- 【6】ファイルの観察
- 【7】特定のファイルを開く

ハムログを使うために
七つの基本操作を
覚えよう



【1】電源 ON とログオン

パソコンをスタートする方法を学習します。

図 5 に示すようにパソコンの電源を入れましょう。

パソコンの電源 ON のスイッチの場所は、ご利用のパソコンの取扱説明書を参照します。

1-4 ハムログを使うための 七つの基本操作

「ハムログを使いたいが、パソコンを使ったことがないので心配!」とお悩みの方から、「どの程度パソコンができればハムログを利用できますか?」の質問がありました。これにお答えします。

ハムログを使うためにはパソコンの基本を覚えて、次の七つの操作ができるようにしましょう。



5 パソコンの電源 ON の仕方